

## 国土交通省関連の取組

## ■ 流下能力対策

### 対策箇所

- ・堤防高が低い等、当面の目標に対して流下能力が不足している箇所  
(上下流バランスを確保しながら実施)

計画: 2.65km (H31.3.31現在)

水系	年度	実施状況
吉井川水系	H29年度まで	0.50km (累計19%)
	H30年度	0.65km (累計25%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

計画: 2.61km (H31.3.31現在)

水系	年度	実施状況
旭川水系	H29年度まで	0.40km (累計15%)
	H30年度	0.50km (累計19%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

計画: 11.78km (H31.3.31現在)

水系	年度	実施状況
高梁川水系	H29年度まで	7.18km (累計61%)
	H30年度	—

見直しにより対策不要となった区間を含む



旭川水系



高梁川水系

# 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

## ■パイピング対策

### 対策箇所

- ・過去の漏水実績箇所等、浸透により堤防が崩壊する恐れのある箇所
- ・旧河道跡等、パイピングにより堤防が崩壊する恐れのある箇所

計画：2.98km (H31.3.31現在)

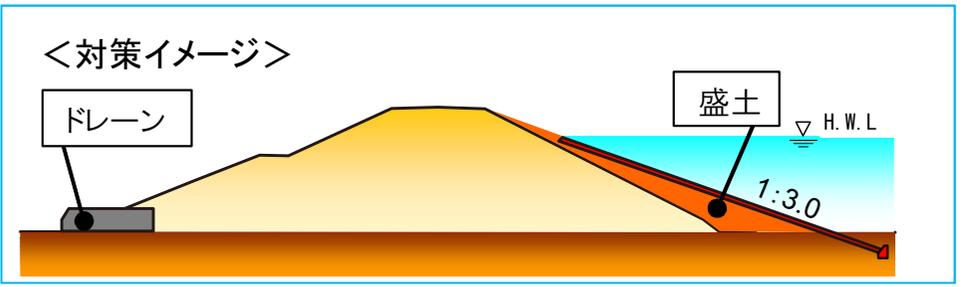
水系	年度	実施状況
旭川水系	H29年度まで	2.72km (累計91%)
	H30年度	2.82km (累計95%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

## ■浸透対策

### 対策箇所

- ・過去の漏水実績箇所等、浸透により堤防が崩壊する恐れのある箇所



計画：2.63km (H30.3.31現在)

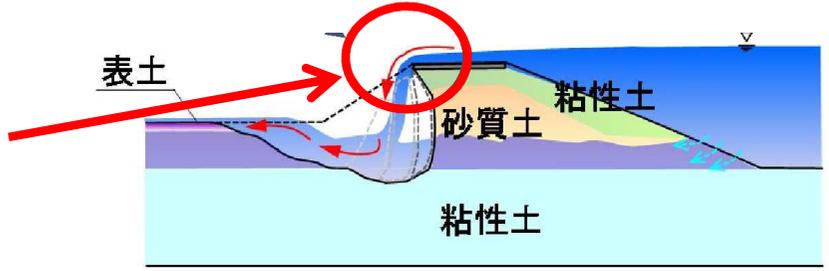
水系	年度	実施状況
高梁川水系	H29年度まで	—
	H30年度	1.00km (累計38%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

# 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

## ■天端の保護

堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水した場合には法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



計画: 2.60km(完) (H31.3.31現在)

計画: 1.23km(完) (H31.3.31現在)

計画: 0.69km(完) (H31.3.31現在)

水系	年度	実施状況
吉井川水系	H28年度まで	2.60km (累計100%)

水系	年度	実施状況
旭川水系	H28年度まで	1.23km (累計100%)

水系	年度	実施状況
高梁川水系	H28年度まで	0.69km (累計100%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

見直しにより対策不要となった区間を含む

見直しにより対策不要となった区間を含む



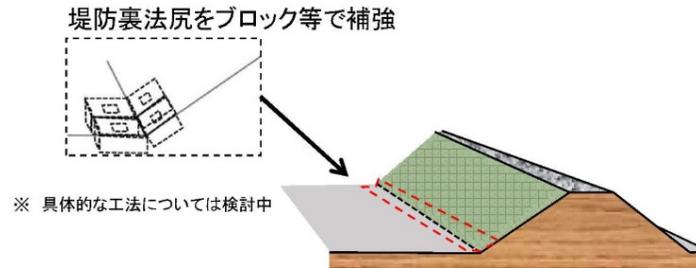
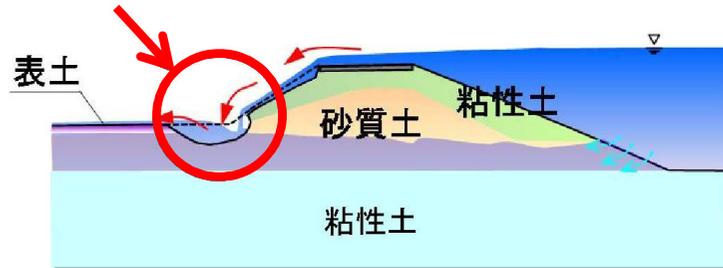
吉井川水系



高梁川水系

## ■裏法尻の補強

裏法尻をブロック等で補強し、越水した場合には深掘れの進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



計画: 1.75km

(H30.3.31現在)

水系	年度	実施状況
高梁川水系	H29年度まで	0.35km (累計20%)
	H30年度	—

見直しにより対策不要となった区間を含む



高梁川水系

# 洪水氾濫を未然に防ぐ対策、危機管理型ハード対策

堤防天端の保護は計画した取組内容を既に完了しており、その他の流下能力対策、パイピング対策、浸透対策および裏法尻の補強について順次実施中である。

	吉井川水系	旭川水系	高梁川水系
流下能力対策	0.65km／2.65km(25%)	0.50km／2.61km(19%)	7.18km／11.78km(61%)
パイピング対策	—	2.82km／2.98km(95%)	—
浸透対策	—	—	1.00km／2.63km(38%)
堤防天端の保護	2.60km／2.60km(100%)	1.23km／1.23km(100%)	0.69km／0.69km(100%)
裏法尻の補強	—	—	0.35km／1.75km(20%)

平成30年度末まで実績／全体計画(進捗率%)

## ■雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備

### ●ライブカメラを公開しています。(岡山河川事務所ホームページ)

岡山河川事務所では、豪雨時に住民の方が河川の状態を自ら確認し、より迅速な避難等の対応をできるように、71箇所(高梁川水系23箇所・旭川水系21箇所・吉井川水系27箇所)の映像をホームページに公開しています。

URL : <http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/cctvpub/index.html>

※回線等の都合により予告無しに映像が見れなくなる場合があります。

岡川整備局

下記のマップ上で河川名をクリックしてください。



見たい河川名をクリック

見たいカメラをクリック

ライブカメラ画像が表示

## ■円滑な避難行動や水防活動を支援するため、危機管理型水位計や量水標、CCTVカメラの設置

### 危機管理型水位計について

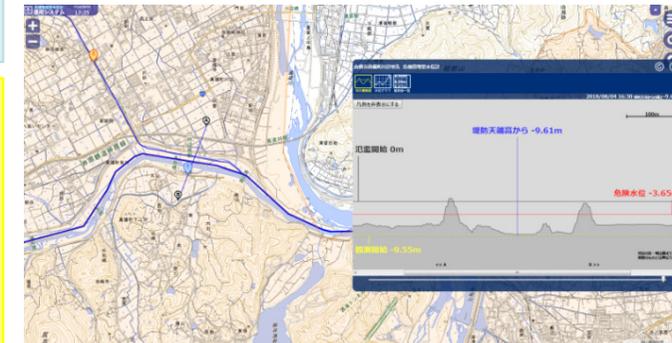
#### 【目的】

洪水時のみの水位観測に特化した低コストな水位計を開発し、都道府県や市町村が管理する中小河川等への普及を促進し、水位観測網の充実を図る。

#### 【特徴】

- 長期間メンテナンスフリー（無給電で5年以上稼働）
- 省スペース(小型化)（橋梁等へ容易に設置が可能）
- 初期コストの低減  
(洪水時のみの水位観測により、機器の小型化や電池及び通信機器等の技術開発によるコスト低減)  
(機器設置費用は、100万円/台以下)
- 維持コストの低減  
(洪水時のみに特化した水位観測によりデータ量を低減し、IoT技術と併せ通信コストを縮減)

### パソコン表示



URL: <https://k.river.go.jp/>

### スマートフォン表示



QRコード



### 設置イメージ

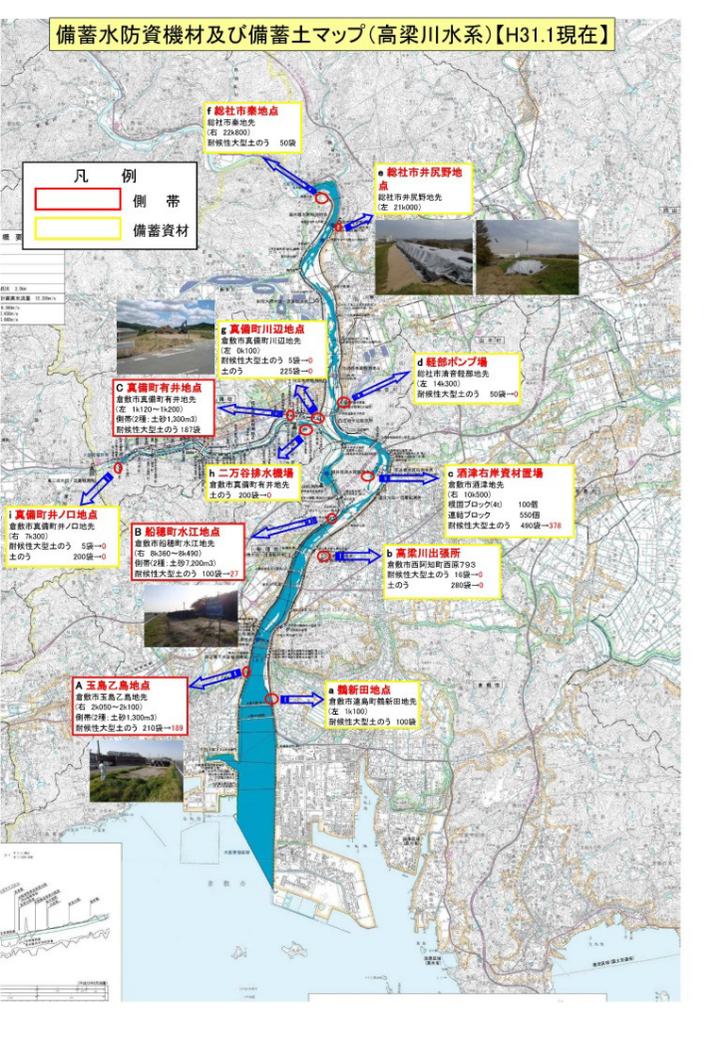
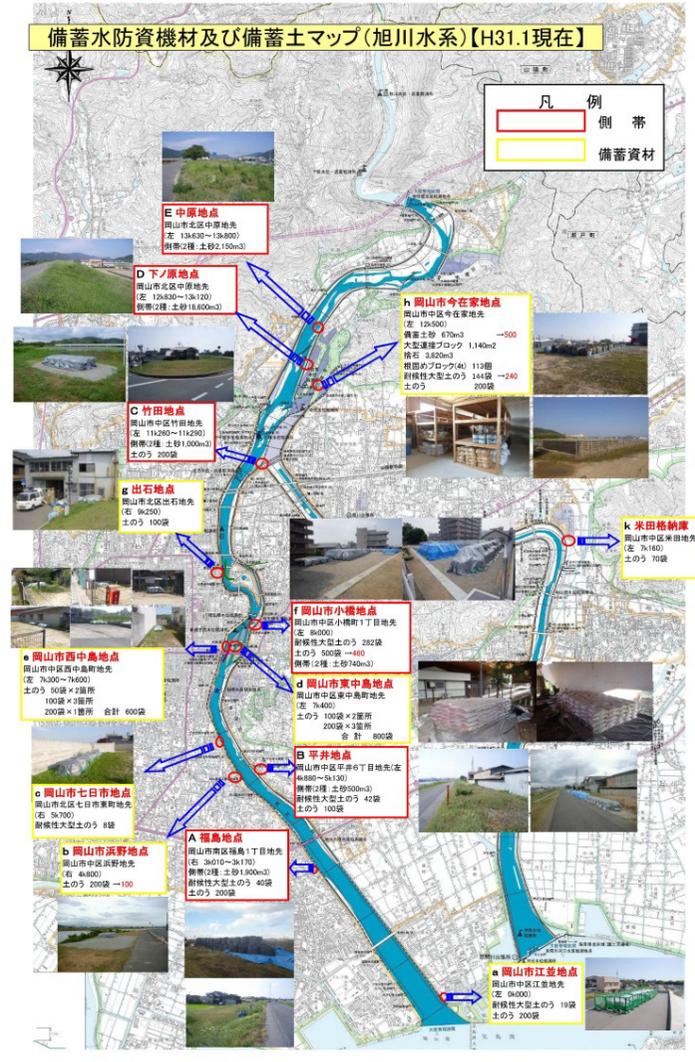


- ・吉井川: 11箇所
- ・旭川 : 7箇所
- ・高梁川: 14箇所(うち小田川6)

## 合計: 32箇所

## ■ 避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備

保有する水防資機材の状況を平素より管理し、必要に応じて補充するなど、緊急時における速やかな対応を図る。







# 情報の伝達・発信

重点行動項目から見る

## 高梁川水害タイムライン（素案）の特徴

➤ 情報収集・伝達に関する項目が多く選定されている

⇒ 逃げ遅れゼロ、経済被害最小化に向けた対応を実施するため、**迅速な情報収集、確実な情報伝達が必要**とされている

## 各機関が必要とする情報の多様性

◆ 雨量、河川水位や、ダム放流通知などの気象・水象情報や、ライフライン停止に関する情報、交通機関の運行停止情報など様々な情報の収集、伝達が重要視されている

## 報道機関から住民への一元的な情報発信

◆ 報道機関では、災害発生前の啓発情報、地域情報の発信などの項目が追加されている。また、災害情報の一元化・単純化や、行政との連携の必要性が記載されている。

## 1 グループワーク

- ① 各機関・部署で選定した重点行動項目のうち、**情報発信・伝達に係る重点行動項目**を確認
- ② **重点行動項目**の課題・調整事項を抽出（役割分担の確認、懸念事項、多機関との調整の必要性を検証）し、グループで整理



ワークシート タイムラインレベル1~2 テーブル名: 住民報道

タイムラインレベル	警戒レベル	課題・調整事項
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨量、河川水位、ダム放流通知などの気象・水象情報の収集・伝達</li> <li>ライフライン停止に関する情報の収集・伝達</li> <li>交通機関の運行停止情報の収集・伝達</li> </ul>
2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生前の啓発情報、地域情報の発信</li> <li>災害情報の一元化・単純化</li> <li>行政との連携の必要性</li> </ul>

↑レベルごとに情報発信・伝達に係る課題や調整事項を整理

←グループワークの様子

## 2 全体ワーク

- ① グループごとに課題解決シートの内容を発表
- ② 各グループが最も解決すべき重点課題・取組事項について、関係する他機関への投げかけや全体での意見交換により解決策を検討



ワークシート タイムラインレベル1~2

タイムラインレベル	警戒レベル	課題
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨量、河川水位、ダム放流通知などの気象・水象情報の収集・伝達</li> <li>ライフライン停止に関する情報の収集・伝達</li> <li>交通機関の運行停止情報の収集・伝達</li> </ul>
2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生前の啓発情報、地域情報の発信</li> <li>災害情報の一元化・単純化</li> <li>行政との連携の必要性</li> </ul>

意見交換で得られた回答や気づきをワークシートに記録

## ◆ まとめ

- ・ 全機関で**情報発信・伝達**に関して特に重点とされる課題や調整事項について意見交換し、**合意形成**が図れた。
- ・ **情報を上手く共有し、活用することが重要**であり、**情報の一元化やプッシュ型の必要性**が問われた。

アウトプットも重要であるが、顔の見える状態で議論していただいたことがより有効ではないかと思う。

兼原センター長



これまで当たり前に行っていた内容を体系化し、情報共有のあり方を考えながら運用をしていく。

樹谷所長



## 【次回】高梁川水害タイムライン検討会（第3回）

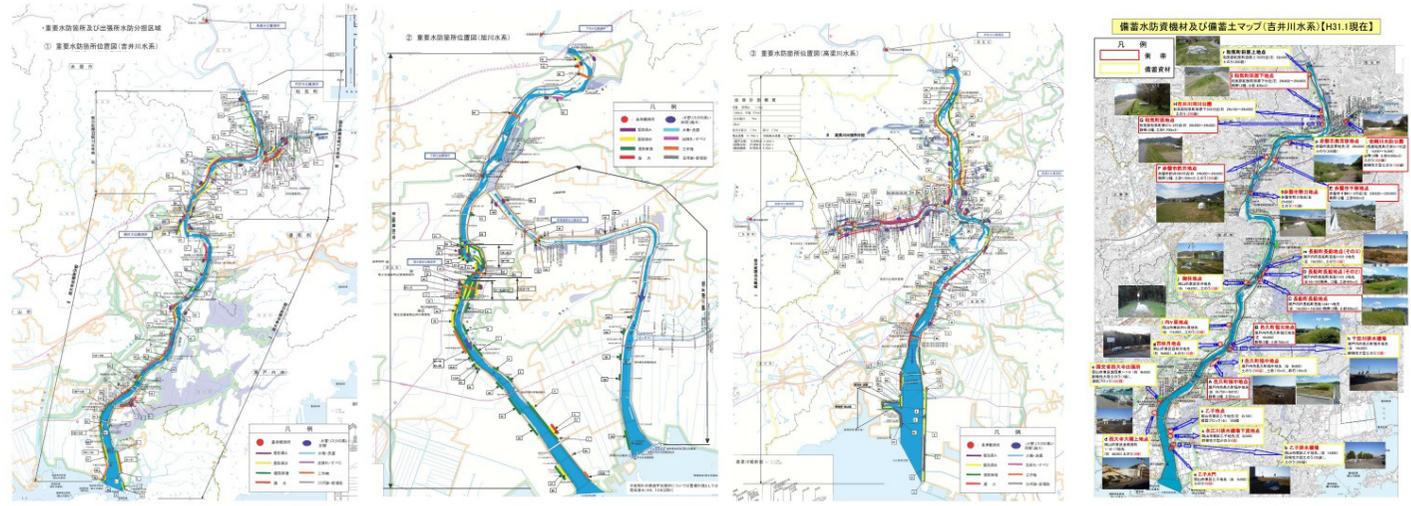
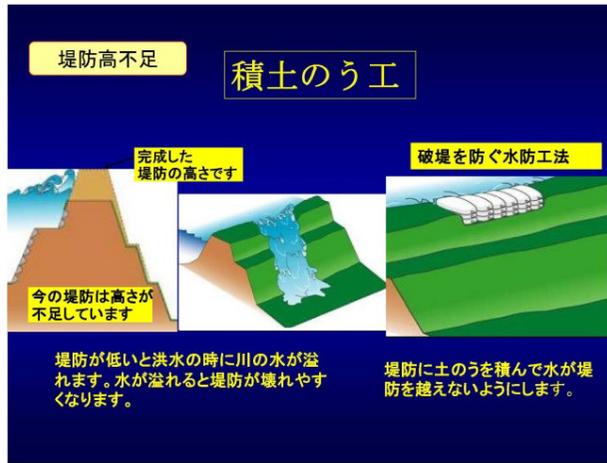
- 開催：6月11日（火）予定 「高梁川水害タイムライン《初版》」のとりまとめ



# 防災教育や防災知識の普及

## ■水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催

- ・出水期前に水防活動・水防体制の強化を図る目的として、水防団等を対象に重要水防箇所の周知及び水防に必要な情報の提供を行い、協力強化に努めるよう依頼した。



説明会の様子



# 防災教育や防災知識の普及

## ■スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の発信

平成30年5月より配信開始

### 緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

～平成29年5月1日から、配信対象を国管理河川63水系にエリア拡大します～

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、平成28年9月から、国が管理する2河川（鬼怒川、肱川）の沿川市町村（茨城県常総市、愛媛県大洲市）において緊急速報メールを活用した洪水情報<sup>※1</sup>のプッシュ型配信<sup>※2</sup>に取り組んでいます。  
平成29年5月1日から、国管理河川109水系のうち自治体や携帯電話事業者との調整等が整った63水系に配信対象をエリア拡大します。配信対象は、今後も順次拡大していきます。

- ※1 「洪水情報」とは、洪水予報指定河川の氾濫危険情報（レベル4）及び氾濫発生情報（レベル5）の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。
- ※2 「プッシュ型配信」とは、受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組みです。



洪水情報のプッシュ型配信イメージ

※今回のメール配信は、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、洪水時に住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。

1

### 配信内容②

#### 5 配信文案

洪水情報のプッシュ型配信では、以下文案例のように緊急速報メールが住民に配信されます。

#### ○配信文案例

##### ①河川氾濫のおそれ

【見本】  
(件名)  
河川氾濫のおそれ  
(本文)  
警戒レベル4相当  
  
こちらは国土交通省中国地方整備局です  
  
内容:吉井川の吉井(岡山市東区)付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる氾濫危険水位に到達しました  
行動要請:防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください  
  
本通知は、浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺でも受信する場合があります

##### ②-i 河川氾濫発生 (河川の水が堤防を越えて流れ出ている時)

【見本】  
(件名)  
河川氾濫発生  
(本文)  
警戒レベル5相当  
  
こちらは国土交通省中国地方整備局です  
  
内容:吉井川の岡山市東区瀬戸町大内地先(右岸、西側)付近で堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出しています  
行動要請:防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、命を守るための適切な防災行動をとってください  
  
本通知は、浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺でも受信する場合があります

##### ②-ii 河川氾濫発生 (堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出している時)

【見本】  
(件名)  
河川氾濫発生  
(本文)  
警戒レベル5相当  
  
こちらは国土交通省中国地方整備局です  
  
内容:吉井川の岡山市東区瀬戸町大内地先(右岸、西側)付近で河川の水が堤防を越えて流れ出しています  
行動要請:防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、命を守るための適切な防災行動をとってください  
  
本通知は、浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺でも受信する場合があります

1  
[内閣府内部用]

3

# 防災教育や防災知識の普及

## ■効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成

国土交通省中国地方整備局  
岡山河川事務所  
Okayama River Management Office

本文へ サイトマップ 文字サイズ: 標準 大 特大  
サイト内検索:  検索

▶ホーム ▶事務所概要 ▶河川情報 ▶広報・お知らせ ▶入札・契約 ▶防災情報 ▶問い合わせ

安全安心で豊かな  
「晴れの国岡山」  
を目指して...

私たちは、吉井川、旭川、高梁川の  
下流区域の整備と管理を行っています。

1 新着情報  
平成30年2月26日 記者発表 みんなで考えるタイムライン防災～旭川水害タイムラインシンポジウム～を開催します。 [記事発表一覧](#) [お知らせ一覧](#)

河川画像  
苫田ダムライブカメラ

注目情報

- 小田川合流点付替え事業～高梁川・小田川の沿川を洪水から守る～
- 旭川の水辺再生に向けて
- ミズベリング岡山旭川
- 旭川放水路（百間川）分流部の改築
- 熊本地震の被災状況調査(TEC-FORCE)
- 水防災意識社会再構築ビジョン**
- 旭川水害タイムライン検討会

お役立ち情報

- 岡山三川主要ダムの貯水状況 **NEW**
- 水辺で安全に遊ぶために
- おすすめのおもちゃ
- 防災マップをつくらう！！
- 坂根堰からのお知らせ
- 河川ゴミマップ

岡山地域の水位・雨量情報  
工事進捗状況  
伐採木・堆肥・刈草の配布

吉井川・旭川・高梁川 大規模氾濫時の減災対策協議会 - 岡山河川事務所 - Internet Explorer  
http://www.tcr.mlit.go.jp/okakawa/kouhou/kyo/ 吉井川・旭川・高梁川 大規模...

国土交通省中国地方整備局  
岡山河川事務所  
Okayama River Management Office

本文へ サイトマップ 文字サイズ: 標準 大 特大  
サイト内検索:  検索

▶ホーム ▶事務所概要 ▶河川情報 ▶広報・お知らせ ▶入札・契約 ▶防災情報 ▶問い合わせ

河川情報

ホーム 河川情報 各種委員会・検討会 吉井川・旭川・高梁川 大規模氾濫時の減災対策協議会

**水防災意識社会再構築ビジョン**

平成27年9月関東・東北豪雨では、記録的な大雨により鬼怒川の堤防が決壊しました。この災害を踏まえ、施設では守り切れない大洪水は必ず発生するとの考えに立ち社会全体で洪水に備えるため、国土交通省では「水防災意識社会再構築ビジョン」を作成しました。本ビジョンに沿って、全ての国管理河川とその沿川市町村において、平成32年度を目途に、ハード対策とソフト対策が一体となった水防災意識社会を再構築する取り組みを行います。

水防災意識社会再構築ビジョンホームページ  
<http://www.mlit.go.jp/river/mizubousaivision/>

**吉井川・旭川水系 大規模氾濫時の減災対策協議会**  
**高梁川水系 大規模氾濫時の減災対策協議会**

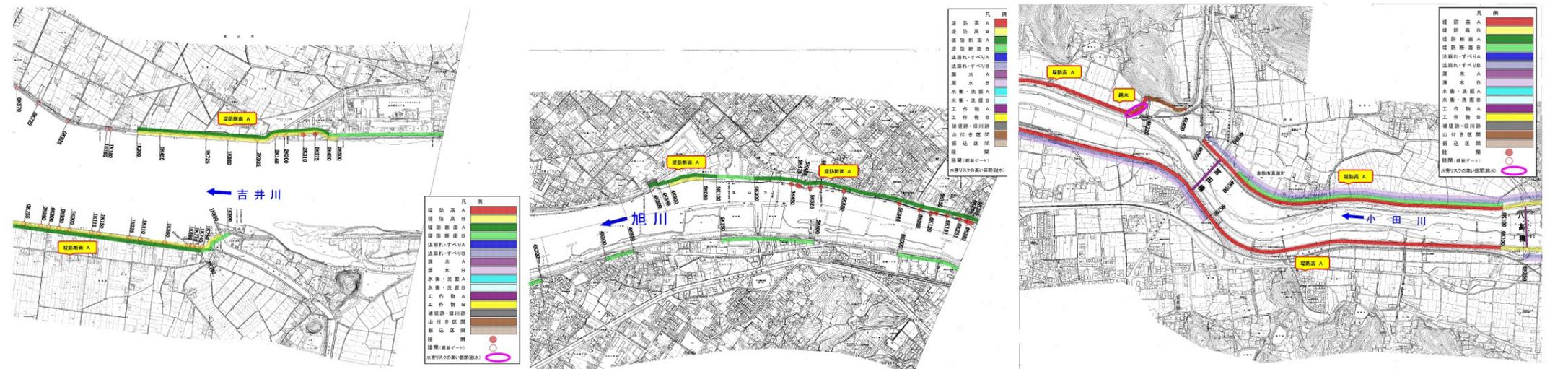
本協議会は堤防の決壊や越水等に伴う大規模な浸水被害に備え、隣接する自治体や県、国等が連携して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体かつ計画的に推進するものです。

**協議会規約ダウンロード**

- 吉井川・旭川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 規約 (PDF : 84KB)
- 高梁川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 規約 (PDF : 83KB)

## ■水防団等が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同巡視

- 出水期前に現地において重要水防箇所の確認を行い、増水時の水防活動を目的として、水防団等を対象に合同で共同巡視を実施した。



共同巡視の様子



## ■水防活動の担い手となる水防団員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進

岡山河川事務所ホームページで水防団員を募集している旨の記事を掲載中

The screenshot shows the Okayama River Management Office website. A red box highlights the '防災情報' (Disaster Information) menu item. Below it, a red box highlights a recruitment notice titled '水防団員募集中!' (Water Defense Team Members Recruitment!). The notice text reads: '水害から地域を守る水防団員（消防団員）を岡山県下各市町村で募集しています。詳しく知りたい方は居住する市町村等にお問い合わせください。' (We are recruiting water defense team members (firefighting team members) to protect the region from water damage in various municipalities in Okayama Prefecture. For more details, please contact your local municipality, etc.)

Below the recruitment notice, there is a section titled '地域を守る「水防活動」' (Water Defense Activities to Protect the Region). It includes a bar chart showing the trend of water defense team members from Heisei 11 to Heisei 28. The chart shows a steady decline from 1,224,403 in Heisei 11 to 224,287 in Heisei 28, with a note that approximately 100,000 members have been reduced.

On the right side of the screenshot, there is a link to the '総務省消防庁' (Ministry of Fire and Disaster Management Agency) website, which features a '消防団' (Firefighting Team) section with a table listing various teams across different municipalities in Okayama Prefecture.

消防団名 (PDFが閲覧できます)	消防団事務所
岡山山消防団	岡山山消防団本部総務課
倉敷山消防団	倉敷山消防団本部総務課
津山市	津山市消防団本部総務課
玉野市	玉野市消防団本部総務課
笠岡市	笠岡市消防団本部総務課
井原市	井原市消防団本部総務課
総社市	総社市消防団本部総務課
高梁市	高梁市消防団本部総務課

## ■地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築

平成30年度 災害応急対策活動等（測量・設計）  
担当河川一覧表

平成30年6月15日 ～ 平成31年5月15日

会社名
(株) エイト日本技術開発
応用地質 (株)
中電技術コンサルタント (株)
復建調査設計 (株)
(株) ウエスコ
(株) 荒谷建設コンサルタント
日本インフラマネジメント (株)
西部技術コンサルタント (株)
(株) なんば技研
ダイホーコンサルタント (株)
(株) 山陽設計

平成30年度 災害応急対策活動等（写真撮影）  
担当区域一覧表

平成30年6月15日 ～ 平成31年5月15日

会社名
(株) バスコ 岡山支店
国際航業 (株) 岡山営業所
(株) アスコ大東 岡山営業所
(株) ウエスコ
(株) エイテック 中国支店
西部技術コンサルタント (株)
ガイテック (株)
(株) なんば技研
(株) 秋山測量設計

平成30年度 河川等災害応急対策活動等基本協定  
担当区域一覧表

平成30年6月15日 ～ 平成31年5月15日

会社名
(株) 吉田組
栄光テクノ (株)
(株) 元浜組
(株) 中山開発
大森建設工業 (株)
(株) 三幸工務店
蜂谷工業 (株)
(株) 荒木組
(株) 奥野組
(株) 竹内組
(株) 笹山工業
(有) 佐山建設
(株) ナイカイアーキtect
(株) カザケン
(株) 藤原組
(株) 大森工務店
三宅建設 (株)
(株) 小田組
(株) ニシテクノ

平成30年7月豪雨時には、国からの緊急の要請に対応し、被災箇所上空撮、現地の被災状況の確認、復旧工事のための資料作成等迅速に対応した。

## ■排水機場・樋門・水門等の情報共有を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施

### 災害対策用機械、排水機場訓練状況



### 排水ポンプ車出動状況(平成30年7月豪雨)



## 各市町の取組結果の報告

# 防災教育や防災知識の普及

## ■要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会を開催

### 1. 避難確保計画作成の支援

#### ➤ 計画作成支援のための講習会を計画

平成29年、水防法及び土砂災害防止法の改正により、洪水による浸水が想定される区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設について、避難確保計画作成及び訓練の実施が義務化されました。

岡山市の作成・提出率は全国平均よりも低いため、避難確保計画提出率の向上を図るべく、国土交通省の講習会プロジェクトを活用し、岡山県の協力を得て講習会を開催することにより、要配慮者利用施設避難確保計画の策定の促進を図ってまいります。

### 2. 講習会開催

#### ➤ H31年3月13日 第1回講習会の開催

「第1回岡山市要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会」を岡山市中区にある施設を対象に実施しました。

対象施設数：269施設

参加施設数：155施設

参加者数：131人

(施設管理者：117人、関係行政機関：114人)

岡山市内の全対象施設は約2,000施設に上りますが、「2021年度までに作成率100%、逃げ遅れによる人的被害ゼロ」の実現を目指し、今後も継続的に講習会を開催する予定です。



第1回 岡山市要配慮者利用施設の避難確保計画に係る講習会

## ■水防災に関する説明会の開催

倉敷市では、自主防災組織を対象に防災出前講座を実施しています。  
また、外部講師による防災講演会や避難所対応演習を実施しています。

### 【防災出前講座】

地域の集会所や公民館まで防災危機管理室職員が出向き、地域の危険性や備えなど、具体的にお話しします。(平成30年度実績:22回、1,878人 ※平成30年12月末時点)

### 【防災講演会】

災害に備えて「自助・共助の重要性」というテーマで行なわれ、250名の住民が参加しました。

### 【避難所対応演習】

高梁川流域自治体8市町の自主防災組織・防災士等を対象に、避難所運営を円滑に行なうための演習を実施しました。平成30年度は7月豪雨災害での避難所運営について振り返り、今後の対応に活かすための内容で実施し、50人が参加しました。



防災講演会  
(くらしき健康福祉プラザ)



避難所対応演習  
(玉島支民交流センター)

## ■水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の実施

- ① 自主防災組織リーダー研修会の開催  
平成30年7月豪雨で甚大な被害が発生した、下原及び昭和地区の自主防災組織の発災時並びに平時の取り組みの紹介。  
避難所開設・運用マニュアルの説明。



## ■関係機関が連携した実働水防訓練の実施

### ② 水防訓練の実施

各種水防工法を習得し、水害対応力の強化を図るとともに、技術の継承を目的として消防本部、消防団及び自主防災組織を対象に実施した。



## ■ 出前講座を活用した講習会の開催

岡山県に講師派遣を依頼し、地域の公民館や団体施設等に向き、防災研修会を実施した。

内容は、「災害への備え 県が提供する防災情報」と題した講演の中で、近年の雨の強さや降り方を理解し、備前市の過去の災害を振り返りながら、県が提供する防災情報の入手方法、自助・共助による防災行動の大切さや自主防災活動についてを学びます。



## ■ 小学生を対象とした防災教育の実施

地区の指定避難所となる中学校を拠点に、総合的な学習の時間を利用した防災教育の現場に参加し講話した。

毎年、地区内の認定こども園や小中学生の子ども・教職員、地区住民、警察、消防が参加し、大規模な災害を想定した合同避難訓練や防災に関する学習を実施している。



## ■H30年度瀬戸内市総合防災訓練(瀬戸内市)

- ・平成30年11月24日(土)  
瀬戸内市立邑久中学校で瀬戸内市総合防災訓練を実施
- ・平成30年7月豪雨と同様の降雨を想定
- ・体育館にて避難所開設・運営訓練を行い、災害対応力の向上を図った。
- ・瀬戸内市防災リーダーの市民などとともに訓練を行った。



# 防災教育や防災知識の普及

## 平成30年度赤磐市水防訓練

### 【目的】

7月豪雨を受けて、近年発生している豪雨災害への対応及び台風の襲来期にあたり、赤磐市地域防災計画に基づき、旭川水系一級河川砂川正崎地区において洪水を想定した水防訓練を実施する。

この訓練により、市職員が水防工法の基本を再認識することにより、水害発生時における迅速かつ的確な現場活動の実現を図り、水害即応の作業能力の向上に努め、防災体制の確立を図ることを目的とする。

### 【内容】

- 1 場所、日時 赤磐市正崎地内  
正崎橋下流 砂川右岸堤防  
平成30年9月6日(木)
- 2 訓練項目  
木流し工法  
シート張り工法  
改良積土のう工法  
土のう作り
- 3 訓練参加者  
市職員 40名  
建設課 3名  
支所産業建設課 6名  
訓練実施者 20名  
くらし安全課 6名  
赤磐市消防団 2名



7月豪雨被災状況 砂川(下市)  
県道山口山陽線兼用護岸



7月豪雨砂川最高水位4.18m  
(氾濫危険水位3.0m)



木流し工法



改良積土のう工法



シート張り工法



土のう作り

# 避難行動に繋がる基盤の整備等

## ■防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布

### ・防災ラジオの配布

防災情報の伝達手段の多様化を推進するため、公共施設、学校、介護施設、自主防災組織等に配布している。

## 防災教育や防災知識の普及

### ■水防災に関する説明会の開催

#### ・出前講座の実施

自主防災組織、町内会などに出向き、我がこととなるように地域の災害特性に合わせた内容で防災講話等を行い、防災意識の高揚を図っている。



防災出前講座

## 住民の避難行動に繋がる知識の普及

### ■マイタイムライン作成研修の開催

#### ・台風接近3日前からのマイタイムライン作成

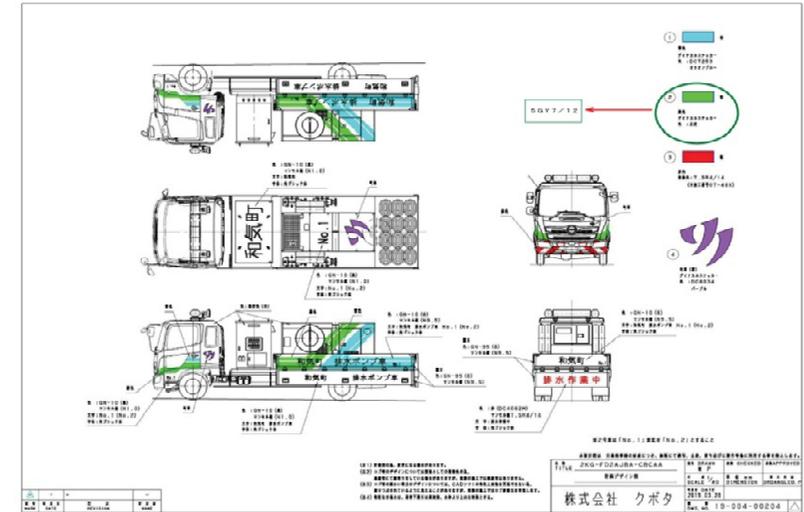
逃げ遅れゼロをめざして、自助(市民)、共助(自主防災組織)、公助(市職員)のグループ毎に対応を検討・発表するとともに相互に共有して自助・共助Gpのマイタイムラインを作成した。



マイタイムライン作成研修

## ■ 避難行動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備

- ・「和気町備蓄計画」に基づく水防資材の購入・配備
- ・排水ポンプ車の購入  
(2019年8月配備予定)



## ■ 水防災に関する説明会の開催

11月23日開催の「和気町ふるさとまつり」に防災ブースを出展しました。(一財)防災教育推進協会のミニ防災検定や和気中学校の生徒による防災研究の発表を実施し、大勢の方にご参加いただきました。



# 防災教育や防災知識の普及

## ■教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施

早島町では、早島小学校において、5年生を対象とした出前講座を実施しました。

早島小学校では、5年生の総合教育として通年で防災教育を行っており、平成30年度は各地区ごとの防災計画を作成することを目標としました。

平成30年9月28日には、その一環として小学校の体育館を避難所として、1日目・3日目・7日目の避難生活を体験、また10月30日には、各地区の特徴、災害時の課題やその対策について、外部講師や町防災担当職員と質疑応答を行う形で出前講座を実施しました。

平成31年2月8日には、年間を通じて学んだ知識を基に作成した、各地区の防災計画を発表しました。

管内図



早島小学校  
対象:5年生 計136人

避難所での避難生活体験の様子



出前講座の様子



各地区の防災計画

